

行政懇談会に参加して 「町を愛する心が伝わった」

この懇談会は非常によい企画でした。女性の参加者は23名とか。次回にはもっと参加してほしい。女性の地位が向上すればする程勉強をしなければなりません。町でも婦人団体の充実にご理解を。

橋本きいさん・70歳・柿岡



強い風雨にもかかわらず大勢の方が集まり、町を愛する暖かい心が伝わってきました。そのような心を結集して道路や河川をきれいにし、かけがえのない八郷の自然環境を守っていきたいものです。

板敷花子さん・64歳・大增



ひとりひとりの声を町政に反映していただき、町民が一丸となって住みよい町づくりを進めたいものです。高齢化社会にむけ、福祉やボランティアのより一層の充実を期待します。

比企たま子さん・60歳・小埜



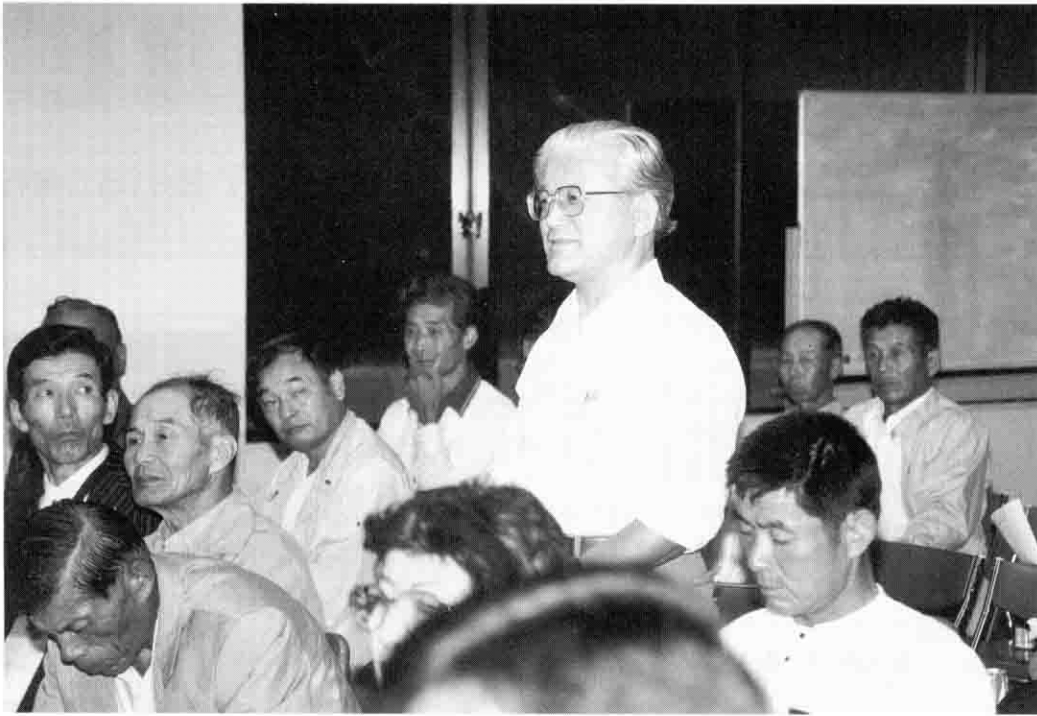
広報車や回覧で知り参加しました。園部地区では、もう少し町政のことについて話し合ってほしかった。私は、母親の立場からいま一番心配な外国人労働者の実態について質問しました。

大和田かつさん・43歳・東成井



第一回行政懇談会

住民参加の行政目指して



町行政懇談会がこのほど旧町村単位に町内八カ所で開かれました。十月二日の柿岡地区を皮切りに、二十五日の小桜地区まで、地区公民館を会場として午後七時から九時までの二時間、住民と町執行部が話し合いを行いました。

悪天候が多かったにもかかわらず、延べ三百七十六人が参加され、町政、集落、個人の問題などさまざまなことが話題となりました。その中から主なものを紹介いたします。

教育文化が15件 道路問題に13件

町執行部からは町長はじめ収入役、教育長、課室局所長が、町議会からは議長と地元選出議員が出席しました。

長のあいさつ、地元選出議員、各課室局所長紹介と続きました。

町長は「筑波研究学園都市の発展や常磐自動車道の開通、北関東横断自動車道の着工など、町を取り巻く環境はますます変わろうとしています」とし、こう

懇談会は、町中央公民館長が議長となり、参加者からの質問や意見、町執行部の応答といった形で進められました。

質問や意見の内容別件数は次のとおりです。道路整備など十三件、企業誘致を含む開発関連十三件、

台風災害三件、高齢化社会と保健対策九件、教育文化関係十五件、

環境問題六件、農業振興六件、議会関係四件、庁舎建設三件、ふるさと創生事業二件などでした。

その中で、いま比較的心のあたる項目を選び掲載してみました。

答えは町長はじめ町執行部が行ったものをまとめたのです。

懇談会に参加された方々は、柿岡が四十一名、小幡が三十九名、芦穂が四十四名、恋瀬が六十五名、瓦会が四十三名、園部が五十一名、林が六十五名、そして小桜が二十八名、全地区合わせると三百七十六名にのぼりました。そのうち女性の参加者は二十三名でした。

秋雨前線と相次ぐ台風の影響で風雨が非常に強い中、長グツ、カサなど雨具を身にまとっての参加となりました。懇談会は、町長の施政方針や予算説明にはじまり、議

の振興などの経済基盤の確立。第二は、生活道路の整備、上下水道の普及推進などによる生活環境の整備。第三は、高齢化社会にむけ

ての生きがい対策や生涯学習の充実、教育施設の充実による福祉対策と教育の振興。以上の三点を重点的に実施する考えであることを明らかにしました。

しかし、それらの実施にむけては、財政的な裏づけが必要であり、

町民の方々が何を求めているかを把握し、それらの施策を取捨選択し、

進める考えであることもつけ加えました。さらに「住民による

住民のための政治」を目指し、後世に誇れる新しい町づくりに最善の努力をすることを強調し、あい

さつを締めくくりました。

朝日峠トンネル化に努力

Q 朝日峠のトンネル化の実現の見通しはいつごろになりますか。

A 朝日峠のトンネル化を一日も早く実現することは、町の悲願です。早期実現可能であるかのような話もありましたが、これまで議会でも何回となく答弁してきたように、この問題は、一から出直さなければなりません。そして一歩一歩努力を重ねながらトンネル化にむけて進めざるをえないと思います。

朝日峠のトンネル化は、将来の町の発展にとって本当に重要であ



トンネル化の早期実現が待たれる朝日峠

まず県道昇格のお願い、さらにトンネル化にむけて国や県に陳情を重ねていきたいと考えております。トンネル化事業は、ばく大な予算がかかりますので、国・県へ働きかけてもすぐ前向きな返答は期待できないかもしれませんが、町民のみならず関係機関に協力を

り、絶対に必要なものです。これまでつくば市、新治村などの関係市町村と連携しまして促進協議会を設けました。その中で早期実現の運動を進めてきたわけですが、卒直に申しまして、現時点ではまったく明るい見通しがたっておりません。

先の県議会におきまして飯岡章県議や桜井富夫県議がこの問題について質問したところ、茨城県土木部長は「大へんむずかしい問題」と答弁しました。それは、現在の

大規模農道を県道に昇格させ認定することが先決であり、その作業から検討していかねればならないということです。

お願いして、ねばり強く実現にむけ努力していきたいと思えます。

Q 芦穂地区の住民として、現在最も関心を集めているのは、芦穂小学校校舎の改築の件です。いつ、どのような校舎ができるのか、構想がありましたら、お聞かせいただければと思います。

A 芦穂小学校の校舎は、現在在木造で老朽化が進み、雨もりがひどい状態にあります。町でも一日も早く改築をして、よい環境のもとで子どもたちに学習をさせたいと考えております。平成三年度に芦穂小の設計を済ませる予定で、現在平面図の案ができておりまして、その配置など

つきましては検討しているところですが、場所は、体育館の左側に建て、鉄筋コンクリート三階建てです。校舎のむきは、いまと同じ南むきになります。

まだ詳細についてはでき上がっていません。工事は、平成四年度に行い、単年度で完成する計画となっております。

また、学校の改築につきましては、引き続き小桜小学校の改築を平成五年度に予定しており、施設の実をさらに進めてまいります。

下青柳に新たな浄化対策

Q 下青柳の産業廃棄物の不法投棄について、その後どのようにになりましたか。

A 投棄後、現場の状況に大きな変化を見せたのは、水質が汚染されたということでした。現場から悪臭を放った黒い水が大量に流れ出しました。この水を処理するためには、浄化槽を設置しました。当初わき水と一緒に汚水が流れていましたので十分な効果を上げられませんでした。その後、

新たな浄化対策を設け、わき水だけ流す方法をとりました。また投

棄場所の底から相当数の廃棄物を掘り出しました。汚水とわき水を別に処理し、ゴミを拾い上げた結果だと思えますが、加えて、ため槽という方法で、二カ所に大きな穴を掘ってそこをゆつくり水を流す方法をとりましたところ、水質については当初より、大分改善されました。水質検査の結果、水質汚濁防止法、霞ヶ浦浄化条例の基準内におさまり、きれいになってきている状態です。今後、さらにきれいにするため、自然浄化装置を設置しようという段



平成4年度に改築が予定されている現芦穂小学校

階です。なお、その設置費用は、原因者が負担することで話し合いを進めています。

もう一つの方法に廃棄物そのものを撤去する対策がありますが、捨てられた量が十トトラックで千五百台、三千台ともいわれており、全面撤去に数億円かかる状況です。町で実施すると財政上大変な問題が生ずることになります。

警察や茨城県が投棄者の発見に努めた結果、これまで四百数十台のゴミが撤去されました。今後、百台近いゴミを撤去するという業者がおりますので、合計五百数十台が撤去されることとなります。

Q 交通安全や道路管理上から道路側の枝払いや清掃に

力を入れてほしいのですが。

A 道路沿いに大きな木や垣根などがある方々は、枝払いやせん定を良心的に行っていたきたい。以前は道路の補修を区単位で年二回程度実施していましたが、舗装道路が増えたので、立ち消えになってしまったようです。

「自分たちの道路」という認識をもっていただき、枝払いや草刈りを一斉に行う日を設けていただけるとありがたいのですが。詳しくは建設課までご連絡を。

町に合った都市計画を導入

Q 都市計画を導入し線引きを行う場合、原案をつくら前に住民の声を聞いてください。

A 都市計画の線引きは、県南地域で八郷だけが白地です。都市計画を導入しないと、ミニ開発や無秩序な宅地造成が行われ乱開発が進みます。来年九月を目標に、都市計画区域の指定を受けるため、いま準備中です。都市計画には三つのタイプがあります。一つは石岡や土浦のように中心市街化区域と周辺を市街化調整区域としたもの。二つめは用途地域の指定をして、周辺は都市計画地域に、三番目は町全体を都市計画地域に。どのタイプを町に導入するかは、今後十分に調査研究し、各



「花いっぱい運動」で広域農道に咲きほこっているコスモス

その時は、ぜひご理解とご協力をお願いいたします。

Q 竹下総理時代のふるさと創生一億円の使いみちはどうなっているのかお尋ねします。

A ふるさと創生事業として昭和六十三年度に一億円いただきました。使いみちのアイデアを募集したところ四十九件ほどありました。その中から、審議会にも入り、いろいろ検討した結果、一億円を元金にして、町の土地利用計画の作成費と人材育成に使うことになり、基金の設置条例をつくりました。次年度は準備期間となり、実際には、平成二年度からの事業に充当しております。

内訳は、国立法にもとづく土地利用計画に八百万円、人材育成事業関係で海外研修九名、国内研修七名そして町内の学習会に助成し、

合計二百二十万七千八百円を支出したことになります。引き続き今年度も人材育成への助成を実施しております。

当初の一億円、翌年度からの地域づくり対策ということで、来年まで助成がありますが、平成三年三月末現在で残高一億四千八百六十二万六千円。これをふるさと創生基金として積立てております。

Q 八郷の医療を充実させるには、土浦市医療懇話会のようなものを町単位で作ってみてはどうか。

A 土浦の懇話会は、土浦市主体で行い、医師、福祉関係、各種団体が集まり地域の医療

をどうするかといった会です。確かに身近な問題を取り上げ、それぞれの立場で検討を加え、健康問題とか福祉政策を総体的に進めております。

町におきましては、医師、関係団体、行政がそのような密接な中で協議する機会は今いるところありません。町の人口の六人に一人が六十五歳以上といった高齢化社会にあつて、地域の医療はますます深刻なものとなっていきます。

それぞれバラバラに検討するよりも同じテーブルについて共通の問題を取り上げ意見交換をする。将来そういった理想的な形がとれるよう進めていきたいと思っております。

地理的条件生かした農業を

Q 農産物の輸入自由化、米の生産調整そして後継者問題など農業をとりまく状況は大へん厳しいものがあります。町の農業振興策についてお尋ねします。

A 農業問題は町単独というよりも全国規模で考えるものでしょうが、町ではやってみたくなる農業、住んでみたくなる農村づくりを進めてみたいと考えております。具体的には、首都圏八十キロメートルの地理的条件を生かした近効農業を充実させていきたい。生鮮食料品をはじめとする

施設園芸を推進するため農協又は農業改良普及所などのご指導を仰ぎ、生産者のご意見をよく聞いて努力してまいりたいと思っております。

いままでの稲作中心の農業も大切ですが、農家のみなさんが農業で生活できるものになんとか切り替えていかなければなりません。ご質問のとおり農業を取り巻く状況は非常に厳しいものありますが、町の有利な条件を生かしながら、農業の振興策を見出し出していきたいと思っております。

また、後継者問題も大へんなこ

とです。農業委員会の結婚相談事業も一生懸命後継者対策にとり組んでいるところですが、やはり、経営的にも安定した魅力ある農業を確立することが問題解決の糸口になるのではないのでしょうか。町も可能な限りの努力をしまいいたいと考えております。

Q 町道飯塚山崎線の道路改良工事は、どのように進んでいるのか。今後の計画を示してください。

A 飯塚山崎線の改良工事は里の武熊さんの前まで終つ

ています。そこから山崎にむかっ

ております。また、里塚は埋蔵文化財の包蔵地に指定されており、

Q 茨城県フラワーパークの整備計画と産地直売の現状を教えてください。

A フラワーパークの隣接地にふれあいの森整備事業を

第3回対話教室 町の文化財を見学



話し合いのあと整備が進むフラワーパークを見学

十一月四日に第三回まちづくり対話教室が開かれました。二十一名が参加し、午前中は県フラワーパークで町長との対話を重ね、午後、町の文化財を見学

しました。話し合いでは、増え続けるゴミ対策、最近の上下水道事情、都市計画の指定、フラワーパークわきに予定されているふれあいの森整

備事業などが話題にのぼりました。生ゴミや燃えるゴミはできる限り自家処理し減量化に努めようとか、乱開発を抑えるため都市計画の指定を早急に、といった意見が出されました。文化財見学では、羽生家住宅、片野城址、佐久良東雄旧宅、瓦塚、佐久の大スギの五ヶ所が対象となりました。町の指定文化財は四十五ありますが、ほんの一部を見学したものです。ややもすると物質優先の時代に町の心とも言ふべき文化遺産を訪ねることは、ふるさと再評価の意味から非常に大切なことです。年三回行われるこの教室は文化財との対話で幕を閉じました。

行っており、スポーツスライダー(すべり台)延長五百五十メートルとスカイサイクル延長百九十メートルを建設中。オープンは平成四年四月です。



今後ますます期待される観光農業

庁舎建設にむけて検討中

Q 役場の新庁舎建設の予定はどうなっているのか。

A いまの庁舎は昭和三十五年に建設されたといえます。

から三十年以上経過しております。当時一町七ヶ村が合併し、職員が一カ所で事務をとるため、苦しい財政事情の中建設されたといっております。

したいと考えております。ただし、この建設にはほう大な経費がかかるため、他の事業への影響を考慮しながら慎重に進めていかなければなりません。町民のみなさんご意見も十分伺いながら、財政を圧迫しないように配慮をし、庁舎建設にむけて努力をしていきたいと思っております。

☆☆☆☆

現在の庁舎は、破損もひどく、機能の面からも不十分なものととなり、仕事量の増加に伴ない全職員が一カ所に入れない状況です。周辺市町村を見渡しても八郷の庁舎ほど老朽化しているものは見当りません。住民サービスの面からも、事務的向上の面からも、いまの時代に対応できる新しい庁舎を建設

ここで紹介したのはほんの一部にすぎません。懇談会での貴重なご意見、ご提言は、一つ一つを関係各課とよく協議し、前向きに努力していきます。

行政懇談会に限らず、ご質問などがありましたら「広報課」へご連絡ください。お待ちしております。

選挙・私はこう考える・選挙

明正選挙で 魅力ある町に

なぜ立候補するのか、八郷を今後どうするのかなどスロ―ガンや政策を有権者に示してほしい。町議会議員は、町執行体制のチェック機関であると同時に町長の女房役として町政を支えていくものだと思う。

地域の振興については旧町村単位ごとに事情が違うので、各地域に沿った開発を計画し、後継者に魅力のもてる町づく



小沢 弘さん
菖蒲沢・会社員58歳

りを進めていただきたい。そのためにも金のかからない選挙を行い、大所高所から意見の言える代表を選出すべきである。金権選挙では、優秀な人より資金調達できる人が立候補することになる。大量の金をかけては、きれいな政治ができない。明正選挙により真に八郷の発展のためがんばってくれる代表が出れば後継者問題も明るくなると思う。

有権者にも 勇気が必要

選挙制度で決められている枠内で選挙を行い、どのくらい集票できるか試してみてもいいだろう。お金を使わないで立候補し、選挙を行うことは非常に勇気が必要である。しかし、だれかがその勇気を実践しないと、いまの流れは変えられない。落選してもとといった気持ちで選挙をし、有権者に共感を呼ぶような立候補者の出現を期待する。



荒井 米さん
吉生・主婦47歳

モノやカネを持っていけばどうにかなるといった風潮があり、個人でよほど信念がないと拒否することはむずかしい。地域ごとに話し合いをし、全体的に拒否する運動を展開してはどうだろうか。

お金がなければ立てない現状では、代表者としてふさわしい人でも断念している人がいると思う。自分の都合で立候補されては有権者は迷惑。

良識ある選択で 農業の振興を

有権者が悪いのか、立候補者に問題があるのか、ニワトリとタマゴみたいな関係でどちらが先なのか分らないが、いまの選挙は金に支配されている。現実論として選挙制度は、形骸化されているのではないか。

モノやカネで選挙する人より、信念を持った清潔な人に投票すべきである。八郷の選挙はとくに派手だといわれて



倉田藤太郎さん
東成井・無職70歳

いるが、有権者の良識で悪い流れを変えてほしい。長年、農業に従事して思うことだが、いまほど農業が深刻な時はない。米が余っている中で、米作、急速に減少していく畑地など様々な問題が山積している。

八郷の歴史ある農業を復活させ、若者に魅力ある町づくりをお願いしたい。まず手始めはきれいな選挙推進である。

選挙・私はこう考える・選挙

菊地 顕彰

ことしは3人表彰



町長から表彰状を受け取る受賞者

菊地四郎顕彰式が、十一月三日(日)中央公民館で行われました。ことしは「よい子」として瓦谷

の山本里香さん(15)、「よい勤労青年」として小倉の植木政光さん(34)、一般善行として柿岡の小河原要さん(82)が表彰されました。

山本さんは父親の不遇な死にもめげず、姉たちと一緒に頑張って病弱な母親や妹の世話をしているにもかかわらず明るくまじめな態度で中学校生活を送っています。

植木さんは父子家庭の中で、父親の入院中は献身的な看病をし、一人暮らしになっても素直な好青年ぶりは集落きつての模範です。

小河原さんは町障害者会長として二十年、老人会を四年努め、

その間地域社会へ尽くした功績は大きいものがあります。

菊地顕彰は、柿岡の菊地四郎さん(故人)が昭和四十三年、結婚五十周年と明治百年を記念して、町に二百万円を寄付され、その二百万円を基金として顕彰基金制度を設けたもの。毎年十一月三日の文化の日にも明るく住みよい社会の建設に功績が顕著であった方々を表彰しております。

これは、昭和四十四年度から行われ、今年で二十一回目になります。これまで表彰者は八十九名で、毎年三月に行っている他の模範となる中学校生徒の表彰百四十二名をあわせると、二百三十一名の方を表彰しております。

町立柿岡小学校

天にそびえる校庭の銀杏の大樹に象徴されるように、柿岡小学校（鈴木中央校長）は、百十余年の歴史と伝統を持った小学校です。

同校は、明治八年八月に柿岡第一尋小学校として開校。その後、昭和四十九年四月、片野小学校と統合、旧校舎と同じ現在地に永久校舎が建設され、理想規模の学校として生まれかわり現在（児童数四百七十三人、十三学級、職員二十人）に至っております。

この間、県、郡、町の指定を受けての研究や学校独自の自主研究など、数々の発表会を開催し、この地域の教育における推進的役割を果たしてきています。



過去の研究実績をみると、昭和五十年には県PTA連絡協議会長から、同五十五年には日本PTA全国協議会長から表彰を受け、現在も役員（川井隆男会長）さんを中心に熱心な活動が行われていきます。また、教育活動においても、

長い歴史と伝統 数々の研究を発表



十月三十日、県指定学力向上研究発表会で熱心に授業を受ける児童たち

毎年のように各種の研究に取り組んできております。最近では、学校保健、学校安全教育の研究指定を県から受け、児童の健康と安全についての研究に取り組み、平成二年度に県健康優良学校として県教育長から表彰を受けております。

平成二年度、県教育委員会から本町が学力向上推進指定地域の指定を受けたのを機に、同校では、一人一人が主体的に学び、わかる喜びを味わわせる指導法の改善を研究主題として研究実践に取り組

み、本年十月三十日にその成果を発表しました。

これからの教育は、児童生徒が自ら学ぶ意欲と社会の変化に主体的に対応できる能力の育成を図ることが強く求められています。

この社会の要請にこたえるべく、柿岡小でも一人一人に基礎的、基本的な内容を確実に身につけさせる指導法の改善、工夫に努め、学力の向上を図ることを目指して、先生方が一丸となって、日々の教育実践に取り組んでいます。

町長の日記帳から



十月の主な動向はつぎのとおりです。

- 二日(水) 消防ポンプ自動車第六分団第二部（山崎）へ伝達、夜柿岡地区行政懇談会
- 四日(金) 片岡災害個所現地調査、石岡台地推進協議会、夜小幡地区行政懇談会
- 五日(土) 身障者スポーツ大会
- 七日(月) 夜芦穂地区行政懇談会
- 八日(火) 小中学校音楽発表会
- 九日(水) 夜恋瀬地区行政懇談会
- 十一日(金) 人口三万人目記念品贈呈、夜瓦会地区行政懇談会
- 十三日(日) 一の沢集落センター竣工式
- 十五日(火) 消防団新治地区ポンプ操法競技会、農協梨部会
- 十八日(金) 文部省指定勤労生産学習研究発表会（小幡小）
- 二十日(日) 高齢者学級講師
- 二十一日(月) 議会臨時会、夜園部地区行政懇談会
- 二十二日(火) 菊地顕彰審査会
- 二十三日(水) 県南政経懇話会、夜林地地区行政懇談会
- 二十五日(金) 国際科学技術開発センター開所式、夜小幡地区行政懇談会
- 二十八日(月) つくば、笠間市間道路整備関係出席陳情、石岡地区交通安全協議会役員会
- 二十九日(火) 区長連合会研修会
- 三十日(水) 小中学校県指定学力向上研究発表会
- 三十一日(木) 総合運動公園弓道場起工式、商工会と懇談

対話尊重の町づくり

桜井盾夫

台風が吹き荒れた中、多くの方々が行政懇談会に参加され、多方面にわたる提言やご意見をいただきました。

対話を重ねて住民本位の町政をモットーにしている私は、この懇談会を通して得たものを今後の町政にできる限り反映していきたいと存じます。話し合いが途切れることなく、熱気ムンムンの各会場は、それぞれに盛況でした。そしてシツタ激励をいただき責任の重大さに改めて痛感。今後とも何らかの形で、みなさんと膝を交えて話し合える機会を持ちたいと思います。

茨城ふるさと祭り

郷土の民俗芸能を披露



「茨城ふるさと祭り」の一環として行われている県教育庁主催の「郷土民俗芸能の集い」が、去る十月五日（土）、「ひたち海浜公園」で盛大に行われました。

祭りには、八郷町から柿岡荒宿の「からくり人形保存会（大枝正会長）」が出演しました。「郷土民俗芸能の集い」は、失われつつある郷土の民俗芸能を、大勢の県民に知ってもらうために、十五年前から行われているもので、町から、からくり人形のほかに「真家みたま踊り」や「片野排禍ぼやし」などが交代で、毎年出演しています。

また当日は、新治村の「からかさ万灯」や鹿島町の「祭頭祭」など県内十団体が出演して、それぞれの郷土芸能を披露しました。

からくり人形は、茨城県無形民俗文化財に指定されており、名前のとおり、からくり仕掛けの人形を操る民俗芸能です。「はらんば

い人形」・「ことわり人形」そして「くらり人形」の三体の人形を、高さ約五メートルの山車の上で矢車拍子と呼ばれる悠長なお囃子に合わせ、巧みに操ります。

ことわり人形は、扇子を右手に持ち、「座して舞えば山をも空し」と唱え、はらんばい人形は、うつ伏せになって手を広げ、足をのぼして回転、「社会の荒波を押し切る勇氣」を、そしてくらり人形は鉄棒につかまり、やはり回転し、「勇氣・忍耐・勤勉」を意味します。

なお、この山車は、七月二十四日の柿岡の祇園祭当日、若者や子供たち約百名によって引かれます。ふるさと祭り当日は、ひたち海浜公園の開園日とも重なり、大勢の人々でにぎわいました。



新購入図書のご案内

「わき役・ふけ役・いびり役」 管 井 きん	「英国史のティータイム」 森 護
「あなただけの般若心経」 阿 部 慈 園	「銀のボンドニール」 秩父宮妃勢津子
「大平記に学ぶ人間学」 安 藤 英 男	「我が名はエリザベス」 入 江 曜 子
「島のことわざ うそほん」と 国 松 俊 英	「よく生きる、よく老いる」 大 宅 昌
「四季のたより」 倉 嶋 厚	「日本人の異人観」 ジョン・ラッセル
	「四万十川 第二部・第三部」 笹 山 久 三

●最近気になる病気

高齢者のボケについて

石岡市医師会病院
内科 後藤 厚 医師



人口の高齢化に伴い、ボケ症状を呈する患者さんの数も増えてきています。

医学的にボケのことを「痴呆」と呼び、「知的機能の低下が著名となり自分一人で社会生活が営めなくなった状態」と定義されています。知能機能とは、記憶力（ものを覚える能力）、記憶力（覚えたものを頭の中に保持しておく能力）、見当識（時・場所・人などをきちんと認識する能力）、思考力、計算力などをいいます。

老年期の痴呆は大きく二つに分けられます。一つは脳血管性痴呆と呼ばれ、脳出血（脳に血液を送っている血管が破れ出血する病気）や脳梗塞（脳血管が閉塞して脳に栄養が行かず脳細胞が破壊される病気）を繰り返すことでボケを生じます。

もう一つはアルツハイマー型老年痴呆といわれ、脳の老化が病的に起こったものと思われま

す。化学的な検索では「神経伝達物質」と言って、神経と神経の間の情報の伝達を担当している物質の代謝に障害がでて、神経間の連絡がうまくいかず、痴呆になると考えられています。

特に、脳血管性痴呆の原因の多くは、脳動脈硬化症による脳梗塞の多発であることから、動脈硬化の原因となる高血圧症・高脂血症の予防や治療が、ひいては痴呆の予防につながります。

逆に、けがや病気で寝たきりの状態が長く続くと、脳の老化を早め、ボケにつながる可能性が大きくなります。したがって寝たきりを防ぐことは、痴呆の予防上とても大切です。

また、慢性硬膜下血腫・正常圧水頭症など高齢者でボケ症状を起こす疾患がありますが、これらは手術による治療が可能です。

ボケ症状が疑われたら、早期に病院を受診されることをお勧めします。

また、慢性硬膜下血腫・正常圧水頭症など高齢者でボケ症状を起こす疾患がありますが、これらは手術による治療が可能です。

ボケ症状が疑われたら、早期に病院を受診されることをお勧めします。

白身魚の
野菜あんかけ



食生活改善委員 国谷米子(野田)

材料(4人分)

たら4切れ 生しいたけ4個 にんじん50g 竹の子50g たら80g 長ねぎ1/2 もやし150g だし汁カップ1 しょうゆ大さじ2 さとう大さじ1/2 塩小さじ1/3 酒大さじ1 かたくり粉大さじ1 しょうが汁少々 油

作り方

- ①たらは、しょうが汁、塩少々をふってかたくり粉をまぶし油で揚げる。
- ②しいたけ、にんじん、竹の子は4cmの千切り、にらも4cmの長さに切る。
- ③長ねぎは5cmの長さの千切りにする。
- ④油大さじ2で、②ともやしをいため分量のだし汁と調味料を入れ、かたくり粉の水ときを入れてあんを作り①にかけて③をのせる。

野菜はありあわせのものを、たっぷり使ってください。

おひな家のGARYとこ



羽生達也ちゃん(上青柳)

父 修さん 母 昌子さん

平成1年8月18日生まれ(二男)

♥家族からの一言

幼稚園からお兄ちゃんが帰って来ると、大喜びでいっしょにプロックや大好きな車に乗って遊んでいます。

好き嫌いなくなんでも食べるので病気もせず元気いっぱいです。

これからも健康でのびのびと育ってほしいと思っています。

失われゆく
八郷の自然



(8)

ススキ・馬・カヤ

今、馬は都市にいます。競馬である。勝馬への打算もあるが、農耕馬に親しんだ伝統がブームの支えになっている面もある。この馬が昭和初期まで町に二千頭近く飼育され、母屋の偶に家族のような扱いを受けていた例も多い。

カヤと馬のまほろばの里

田畑の耕起、水田の均し、運搬や堆肥づくりまで、当時の農家にとって欠くことのできない働きをしていた。

男児は、十歳ごろから馬に馴染み、飼料の草刈り、飼料の給与をはじめ、鼻取りと称し水田で馬をリードする作業を受け持ち、中には大人顔負けの働

きをする子もいた。

春耕のころから芽吹いたススキは、盛夏には野山を覆うようになる。カヤ場と称された共有地以外のススキは、馬の背で運ばれ、飼料や堆肥となった。この山草刈りのため、林地は程よく管理され、きのこの菌床となり、なでしこ、せんぶり、おみなえしなどの繁茂する環境として、保護されてきた。松たけをはじめ、いろいろな山のお返しは多彩であった。

秋、ススキは穂をなびかせた。カヤ場には銀の波が立った。空はブルー。人馬の通う山路に、竜腦菊の白さが薫り、遠く高浜の湖が輝き、ひととき村人は詩人になった。

冬枯れのある日、カヤ場に村人のざわめきがあった。カヤ刈り作業である。八郷には多くのカヤ場があり、人馬の活動の場であった。どの集落にも数百駄を必要とする家屋があり、ふき替には膨大な資材が必要だった。カヤ以外に竹材、藁、杉皮、縄、足場材など、地区民の協力なしには不可能な事業であった。カヤ屋根は消えかけている。相互扶助の村の心も失いかけていく。

山は聖地である。神の創った馬が天恵のススキを食み、排泄物は地に返した。人は馬の力を借り田畑を耕作し、わが家を天恵のカヤで覆った。

人の作った車は、ときに人命を食み傷つける。排気は空を覆い生みの親を常時、苦しめている。

中央公民館長 軽部豊

みんなの広場

習字コーナー

評 玄潮会 森浩亭

このページは、皆さんが作るページです。
あなたのご意見や作品をお待ちしています。

私も ひとこと

毎 回「八郷の自然」を楽しみに読
ませていただいております。

私は、道端や野山に何気なく咲く、
名もない花（本当は名前があるのでし
ょうが……）に、限らない魅力を感じ、
折々生花を楽しんでおります。

つりふね草も9月半ば、吾国山で見
つけ、すすき、われもこご、野菊とと
もに生けたばかりでした。

花を採ってるときは、「また来年
もここで咲いてみせてね」という気持
ちで必要最小限にとどめます。

失われる事のない八郷の自然である
ことを願っております。

大増 森田下枝（42歳）

こ の間テレビのニュースで百歳の
双子のおばあちゃんを見ました。
とっても元気でびっくりしました。

そのおばあちゃんたちは、「一生は
楽しく生きることだね」と言っていま
した。私は、おばあちゃんに生きる喜
びを教えられたような気がします。

乗車に
小五 市村陽子

柿岡小五年 市村陽子

おだやかな気持ちで力みがなく、
自然な作品です。

ばあき
鈴木親

柿岡小二年 鈴木親

ほのほのとしていてあたたかみ
のある作品です。

素

太田 友部久子（17歳）

朴な疑問ですが、「わがやのアイ
ドル」や「ときめきティールタイム」
の選考はどのようにして行われるので
しょうか。

♣ 「わがやのアイドル」「ときめき
ティールタイム」とも希望された方を掲載
しています。

ところで、わがやのアイドルのほう
は、希望者が結構いるのですが、とき
めきティールタイムのほうは、なかなか
いないのです。そこで、係りでは知り
合いや職場の仲間から紹介してもらっ
たり、町で見かけたお嬢さんに声を掛
けたりして一生懸命探しているという
のが現状です。

八郷町の若きお嬢さん方、町で、カ

メラを下げた広報係が声を掛けるかも
知れません。そのときは、どうか協力
してください。

また、広報に「出てもいいかな」と
思う方、「うちの娘をせび」というお
父さんお母さん、「うちの隣にとつて
もいい娘がいるんだけど」という方、
広報課までお電話ください。お待ちし
てます。

もちろん、わがやのアイドルも募集
しています。どしどし応募ください。

広報係



川又 木村和子



小幡 藤田優子 (10)



小見 荒木美智子



宇治会 永瀬伸明

フラワーパークの
入場券がペアで当たるよ

広報クイズ 44

三つの答えの中から正解を選び
ハガキに書いて送ってください。

1.このほど行われた行政懇談会の
出席者は8地区合わせて何名か？

- (A) 376名 (B) 291名
(C) 514名

2.では、町づくり対話教室の出席
者数は？

- (A) 21名 (B) 27名 (C) 32名

3.今年の一連の台風で受けた町の
被害総額は？

- (A) 約3億7千万円
(E) 約3億5千万円
(C) 約3億3千万円

〔応募の方法〕

☆ハガキに広報クイズ44と書き、
答えの記号(例1-A)、住所、氏
名、年齢、世帯主と「私もひとこ
と」へのご意見やご感想などを書
いて送ってください。イラストや
マンガも大歓迎。

☆全問正解者の中から10名にフラ
ワーパークの入場券をプレゼント
します。

☆締切日 平成3年12月15日

☆応募先 〒315-01 八郷町柿岡
2009-3 八郷町役場広報課

☆当選者の発表 本紙12月号

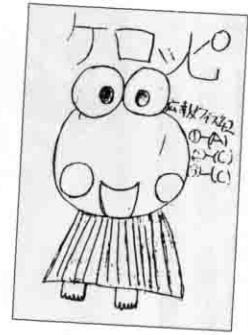
〔広報クイズ42の当選者の発表〕

正解は1-A、2-C、3-C、でし
た。応募33通、正解31通の中
から次の10名が当選しました。

鈴木かつ江(小山田) 坂野恵美(東
成井) 荒木みか(小見) 奥村初江
(瓦谷) 平野敬子(柿岡) 小松崎
かく(金指) 木村良重(上曾) 平
野実(柿岡) 来栖京子(柿岡) 木
村和子(川又) =敬称略=



東成井 鴻巣直也(8)



小幡 鬼沢由梨

やさと文芸

短歌

吉田次郎選

長雨に交わす挨拶誰彼の困った天気ですなが決まり文句

東成井 大和利

幾人の子供育てて人となし老いゆく父母の淋しかりけり

東成井 鈴木君江

盆踊り踊り継がれて数百年かしこし国の文化財

真家 長谷川雅吾

俳句

綿引鼓峰選

台風の進路に安堵寝るとせん

山崎 安達利男

長雨も時に晴れ間や柿赤し

小倉 水野美雄

秋草の中に二宮尊徳像

青田 田上岳尾

孫の振袖姑と嫁の夢が溶け合う七五三

柿岡 上増醉人

残り少ない友また一人欠けて悲しい秋の雨

中戸 大岡木堂

みんな落果で泣く泣く町へ津軽林檎の汽車の旅

下林 大山恒泉



八郷の観光農業の新しい顔、果
実のふるさとにリンゴが登場。
月岡地内



「まち」の「話」題「で」き「ごと」と

身近な出来事や地元の話
 話題をおよせください
 (連絡先・広報課内線一六)



故郷の山をきれいにしよう

秋の行楽シーズンを迎え、「筑波山をきれいにする大会」が十月二十日、八郷町、つくば市、真壁町の共催で実施されました。

当日は、約八百人が山頂の幸ヶ原に集

合、大会宣言の後、それぞれ登山ルートを下山しながら、空き缶や紙くずなどを拾い集めました。

町からは、中学生などを中心に約四百人が参加しました。

わたしたち負けられません

第四回町民綱引き大会が、十月二十日、

農業者トレーニングセンターを会場に三十二チーム、四百五十名が出場して行われました。綱引きは、三十秒間の勝負。「レディ・ゴー」の掛け声とともに、皆さん力いっぱい綱を引きました。各種目ごとの優勝チームは次のとおり

- 〔二般男子〕町商工会青年部
- 〔二般女子〕(株)博進チーム
- 〔小学生男子〕芦穂スポーツ少年団
- 〔小学生女子〕小桜クイーンズ
- 〔中学生男子〕有明中学校
- 〔中学生女子〕有明中学校



郡操法大会小型で準優勝

第四十二回茨城県消防ポンプ操法大会

新治地区大会が、十月十五日、土浦市総合運動公園で開催されました。

大会には、郡内町村から小型・自動車の部合わせて十一チームが出場、町から

小型ポンプの部で出場した第二分団第三部(須釜)が健闘し、準優勝しました。

なお、自動車ポンプの部で出場した第二分団第二部(小幡下宿)は惜しくも敢闘

賞という結果でした。



ときめき
 ティータイム



外口由美(佐久20歳)さん

趣味は旅行です。いま一番行ってみたところは沖縄。理想の男性は、精神的に強い人。



ありがとう

いづこまで

長崎県雲仙普賢岳火砕流による罹災者見舞金として
 ●山根クラブ(代表小池明光外十三名) 十四万円
 ●四十二インチテレビ(ビデオ・衛生アンテナ付)

真家(株)湘南合成樹脂製作所

町の人口27年ぶりに3万人を突破



十月七日、町の人口が二十七年ぶりに三万人を突破しました。このほど三万人目となられたのは、静岡県から上林に転入された原口和也さん十八歳です。

町の人口は、昭和三十年の町合併当初は三万三千二百二十八人ありましたが、徐々に減少し、昭和四十八年には、二万

七千六百八十六人まで減ってしまいました。しかし、それ以後は、再び徐々に増加を始め、このたびの三万人となったものです。

原口さんは、現在、東筑波カントリークラブに勤務、同クラブの寮にお住まいです。原口さんは、「引越してきて最初に良いことにぶつかり、うれしいです」と、話しておられました。

なお、原口さんには、町長から記念品とバラの苗木が贈られました(写真)。

「なんなんなあに」園部小でロケ



NHK教育テレビが、小学一年生を対象に放送している理科番組「なんなんなあに」の録画撮りが、十月二十二日と二十三日に園部小学校で行われました。

テーマは、チューリップの球根植え。園部小学校の一年生といっしょに「のつく君」・「やった君」の人形が歌ったり踊ったり、子供たちは、テレビカメラを

前に少々緊張さみでした。それでも撮影が終わると「おもしろかったあ」の声。この模様は十一月七日午前十一時四十分から放送され、子供たちはテレビの前で、自分たちの姿が写し出されるのを見て、大喜びしていました。

珠算大会で高野君が最優秀選手賞に

このほど、第二十三回全関東学年別珠算選手権大会が開催され、町から出場した、恋瀬小学校四年生の高野拓弥君が、小学四年生の部でみごと最優秀選手賞に輝きました。

高野君は、小学一年生のときから、近所の珠算塾に通っており、関東大会出場は今回で二回目、昨年も最優秀選手賞を受賞しており、二年続けての快挙です。

(写真前列、左から三人目が高野君)



スポーツ ニュース

お父さんソフトボール 会長旗大会

十月二十日、総合運動公園で開催。十一チームが参加しました。

優勝 柿岡上宿チーム
準優勝 陣場チーム
三位 北郷チーム・常磐チーム

新治郡フロッケー・ゲートボール大会

十月十七日、総合運動公園で開催。郡内から十八チームが参加しました。町からは、六チームが参加、クロッケーで根小屋チームが優勝しました。

町青少年相談員

連絡協議会が表彰

第十三回防犯運動県民大会が水戸市の県民文化センターで開催され、席上、町青少年相談員連絡協議会(会長上田久さん)が防犯功労団体として表彰されました。

大会では、ほかに防犯功労者や防犯ポスター入選者の表彰、少年非行防止活動の体験発表などが行われました。

台風18号、21号のつめあと

被害総額 3億7千万円に

台風18号は9月18日から19日にかけて茨城県に接近し、八郷に大雨を降らせて土砂くずれや農作物などに大きな被害をもたらしました。

降りはじめからの雨量は215%、最大時間雨量が25%に達しました。すぐそのあと10月11日から13日にかけて台風21号が近づき、139%の雨を降らせ、ダブルパンチの被害となりました。

増水した恋瀬川。片野光安寺橋付近



冠水していた水が引いたあとの県道。



水路の護岸崩壊。大増地内



台風18・21号の影響により、町では大きな被害を受けました。河川や道路のくずれ、農作物の収穫減などにより被害総額が3億7,208万円(11月1日現在の概算)にもなりました。

災害箇所数と被害額の内訳は次のとおりです。

〈建設課関係〉国の災害該当が13か所、内訳は河川が1か所で道路が12か所。被害額は5,000万円です。また町単独で災害復旧するものは10か所、540万円。町道舗装の崩落やのり面くずれが主な被害内容です。さらに土浦土木事務所管理の河川が2か所 9,500万円。県道が1か所2,500万円です。建設課関係の被害総額は1億7,540万円になりました。

〈土地改良課関係〉国の災害該当が23か所。内訳は水路が13か所で農道が10か所。被害額は6,100万円です。他に土砂くずれが起きたのは15か所。内訳は水路が9か所、農道が6か所で、被害額が2,000万円。水路・農道いずれも被害か所のほとんどが未整備地区で曲がりくねった狭いところに多量の水が流れ込み堤防やのり面のくずれを引き起こしたものです。土地改良課関係の被害総額は8,100万円。

〈農政課関係〉林道の国災該当が2か所で1,342万円。その他の被災箇所は碎石などの原物支給で対応予定。また、水稻、落花生、イチゴ、ナス、キュウリなど作物の被害総額は1億226万円に達しました。農政課関係の被害総額は1億1,568万円。そのほか小中学校が臨時休校になったり、道路が大雨のため通行止めになるなど町中混乱しました。なお、町では台風18号接近の時災害対策本部を設置し警戒にあたりました。